

## 伝染性紅斑（りんご病）

### ○どんな病気？

頬がりんごのよう赤くなる病気で、ヒトパルボウイルス B19に感染することにより生じます。

### ○感染様式

- 飛沫感染（咳・くしゃみ・鼻水）
- 接触感染
- 発疹が出現する 1 週間前に感染力がもっとも強いです。**

→発疹の出現 1 週間前が、ウイルスが最も多く排泄されるため感染力が強いですが、その後抗体が作られるためウイルスが次第に減少し、発疹が現れた時にはウイルス排泄はほとんどなく、感染性が低くなります。

### ○潜伏期間

4~14 日（通常 2 週間前後）

### ○症状

- 急に両頬がりんごのよう赤くなります。その後、両腕、足（特に太もも）に同様の発疹が出現し、レース模様の発疹になります。
- 成人の方は、頬・手足以外の場所にも紅斑を認めることがあります。
- 微熱、だるさ、手足の関節痛

### ○紫外線に注意

- 一度消失したあとに紫外線や機械的な刺激により発疹が再発することがあります。

○妊娠初期の女性がりんご病のお子さんに接触したときは、産科の主治医の先生にご相談してください。

### ○治療

自然治癒します。

かゆみが強いときに痒み止めを処方します。

### ○登園・登校

全身状態がよければ、登園・登校はできます。

